

クロモジの精油で化粧水

有賀林野がバラと組み合わせ試作品

諏訪市豊田有賀の山林を維持管理する有賀林野（諏訪市、小泉吉彦社長）は、自生するクスノキ科の落葉低木クロモジの活用を広げようと、精油を使った製品開発を進めている。手始めはバラの蒸留水と合わせた化粧水で、オーガニック化粧品製造販売のフロンティア夢科（茅野市）とタイアップし今月、試作品完成にこぎ着けた。クロモジは独特の芳香が古くから好まれ、生薬としても用いられており、同社のバラとの組み合わせで栽培過程から化学薬品完全不使用の「上質で市場価値が高いもの」ができた（両社）。今後、市民から試用の感想を集めて仕上げ、発売を目指す。

（日比野真由美）

有賀林野は、刈り払うばかりだ
を守り続けるための収入源にしよ
ったクロモジの魅力に着目し、山
うと2020年にオリジナルの



試作品の出来をみる小泉社長

自然の香りに心地よさ

「黒もじ茶」を発売。化粧水はそ
れに続く製品となる。

県林業総合センターの設備を借
りて枝葉100gから250ミリの
ほどの精油を抽出し、フロンティ
ア社に持ち込んだ。初めて得た精
油は「穏やかさと華やかさを併せ
持ち、ずつと浸っていたくなる心
地よさを感じた」と小泉社長。フ
ロンティア社の山崎靖子社長は
「他社の精油製品に比べて優し
く、でも特有の香りがしつかり出
ていて自然の香りがする」と評価
する。同社の主原料、ダマスクロ
ーズ・セルシアーナの蒸留水と配
合して「クロモジの爽やかでイン
パクトのある香りが先行しつつ、
バラの香と混ざり柔らかな優しさ
が出せた」という。

小泉社長は「豊富に自生するせ
つかくの資源。利用の道を広げれ
ば造林や植樹など林野の活用にも
つながる」と話し、社員一丸で商
品化実現に張り切っている。

この限宝多会第第る十関二第第のより千、はるき主とアJと第、エア会同
ムサヤロて（イサエて一ハ ストマハ一）9%のムサヤロて第支第、依和る十第関
ア育心、（聖第の育心依自、ち第さ5自、り吹さ5自）聖第自育、（いさ、り第の第宗）
。>いアの計さる公業事第時、依和の聖第J登、